



▲空路で搬送するため救急車からドクターヘリに傷病者を引き継ぐ

特集 2 **ドクターヘリを活用した救急体制**

早期の治療に効果

あなたが急に病気やけがなどで重症傷病者になったとき、頼りになるのは救急車です。しかし、搬送先の救急病院から離れた場所だったり、専門治療ができる遠くの病院に行く必要があったりした場合には、救急医療用ヘリコプター（以下、ドクターヘリ）を使った搬送が効果を発揮します。当市は面積が広く、山間地もあるため、ドクターヘリの活用を含めた救急体制を整えておくことが、より安心につながります。



▲救急医療用ヘリコプター

ここでは、ドクターヘリの紹介や利用状況などについてお知らせします。

☎**問い合わせ** 消防本部消防課 ☎26-0119（内線231）



短時間での搬送が可能

ドクターヘリは、救急医療用の医療機器や医薬品を搭載し、医師と看護師が搭乗している専用のヘリコプター。急を要する重症傷病者がいる場所に向かい、医療機関に搬送するまでの間、機内で患者に必要な救命医療を行うことができます。

県は、平成23年2月にドクターヘリを導入しました。普段、ドクターヘリは、岐阜大学医学部附属病院に常駐しており、県内の消防本部の要請で出動します。要請を受けてからは、5分程度で出動し、当市には、15から20分後に到着します。

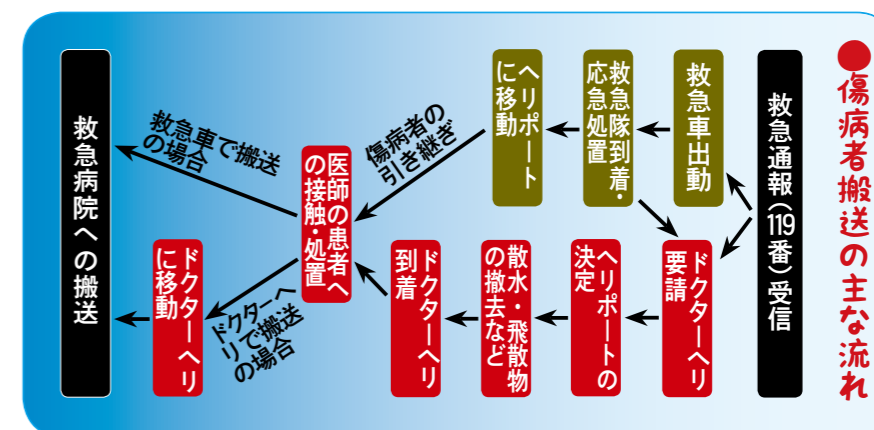
ドクターヘリの活用により、早期に治療を開始することができ、短時間のうちに医療機関へ重症傷病者を搬送することができます。早期の治療は、傷病者の救命をすることはもとより、後遺症を軽減することなどにもつながります。当市は特に面積が広く、山間地域があるため、ドクターヘリの活用は、大きな効果と安心をもたらします。



救急車と連携して搬送

ドクターヘリは、どのような流れで救急搬送が必要な傷病者の所へ飛来し病院に搬送するのでしょうか。

●傷病者搬送の主な流れ



【要請の判断】

- ①119番通報の内容から重篤症例が疑われる場合は、救急車の出動と同時に通信指令室からドクターヘリを要請します。
- ②救急車が到着したときに、医師による早期治療が必要と考えられる場合は、救急隊からドクターヘリを要請します。
- ③①の場合も救急車は出動します。



飛来ができない場合も

いつでもドクターヘリを要請できるわけではありません。ドクターヘリの利用は、安全に飛行できる日中の時間に限られています。また日中であっても、他地域で出動していたり、悪天候だったりした場合は、要請に応えられないことがあります。

次の表は、市がこれまでにドクターヘリを要請した件数と要請後に取り止めた件数です。

年	要請件数	取り止めなど
平成23年	42件	11件
平成24年	64件	21件
平成25年	45件	8件

【医師の診察と搬送方法の決定】

ドクターヘリが到着した後は、医師が救急車の中で診察や治療をします。その後、搬送する病院は、傷病

【着陸の支援】

ドクターヘリを受け入れるためには、現地での準備が必要です。ヘリポートの安全確保や飛散物の撤去、付近への注意喚起などです。未舗装のヘリポートでは、消防車が散水して、砂やほこりの飛散防止の処置などを行います。

【ヘリポートの決定】

着陸するヘリポートの決定は、救急要請の現場から近いヘリポートの位置などを総合して考え、最短で傷病者が医師の管理下に置かれるよう考慮して決定します。



質問に答えます

利用には費用が掛かりますか。

答 ドクターヘリでの搬送自体の費用は掛かりませんが、救急現場やドクターヘリの中で行った医療行為による医療費については、医療保険制度に基づき請求されます。

搬送先の病院はどこになりますか。

答 救急治療が可能で、ヘリポートが近くにある病院です。平成24年度の主な搬送先は、県立多治見病院28件、岐阜大学病院5件、市立恵那病院3件でした。

誰でもドクターヘリの要請ができますか。

答 直接行うことはできません。消防機関の要請を受け、基地病院の医師の医学的判断や機長の飛行判断によって出動します。



市内の57カ所を指定

計画的に専用ヘリポートを整備

ドクターヘリの運航開始当時には、市内のヘリコプターの緊急離着陸場として、54カ所指定してました。そのうち専用のヘリポートは、市立恵那病院の公園内の1カ所のみで、それ以外は緊急時に管理者の承諾を得て、グラウンドや駐車場などを使用していました。

ドクターヘリの活動では、安全面や砂ぼこりによる周囲への影響、ヘリコプターの機体への影響、消防による安全確保と砂ぼこり対策の作業時間などを考慮すると、専用ヘリポートを整備することが非常に重要です。平成23年度から市では、消防署から遠距離となる地域を考慮して、順次、専用ヘリポートの整備を進めています。

現在のヘリポートの指定は、57カ所です。ヘリポートの整備状況と整備計画は次の通りです。

- ・平成23年度 消防防災センター、中野方町
- ・平成24年度 飯地町
- ・平成25年度 申原

平成26年度以降は、未整備地区から提出される設置要望と過去のドクターヘリ要請（搬送）状況などを考慮し、順次ヘリポート整備地区を決定する予定です。



飯地振興事務所の前に整備したヘリポート

市内の緊急時のヘリポート一覧

町名	場所	
大井町	大井第二小学校	
	市立恵那病院	
	大井小学校	
	シアター恵那	
長島町	恵那北小学校	
	長島小学校	
	まきがね西グラウンド	
	まきがね公園多目的広場	
	恵那インター	
	阿木川公園	
	市消防本部	
	恵那総合庁舎 永田区民グラウンド	
東野	東野小学校	
	三郷町	三郷小学校
	武並町	武並小学校
笠置町	中部大学研修センター 藤花苑	
	恵那北中学校	
	姫栗ふれあい広場 毛呂窪運動広場	

町名	場所
中野方町	中野方小学校
	中野方ふれあいグラウンド 笠置山(グリーンピア恵那跡地) 中野方町材木置場横
飯地町	飯地小学校
	飯地振興事務所
岩村町	阿木川ダム
	岩村町総合グラウンド
	岩村町総合グラウンド下臨時駐車場
	岩邑小学校
	恵那特別支援学校
山岡町	久保原グラウンド
	飯高観音1
	飯高観音2
	イワクラ公園
	山岡小学校
山岡グラウンド	
田代コミュニティ消防センター	

町名	場所
山岡町	AF 場外離着陸場 (パラプレーン飛行場)
	明智町
吉田町	吉田小学校
	明智ゴルフ場
	東方センター
申原	ささゆりの湯1
	ささゆりの湯2
	申原小中学校
	奥矢作レクリエーションセンター
上矢作町	矢作ダム記念碑 (愛知県)
	上矢作小学校
	上矢作山村広場
	上矢作中学校
	上矢作山村広場駐車場
越前町	越前コテージ
	小里川ダムヘリポート (瑞浪市)



▲ゴルフ場で倒れた傷病者をドクターヘリで搬送する準備

事例2

大量出血も無事回復

三郷町で1月16日、電動のこぎりで右前腕を不完全切断し、ショック状態になる事故がありました。通報を受けた消防本部では、救急車の出動と同時にドクターヘリを要請しました。救急車到着時の傷病者は、大量の出血のため顔面蒼白で、呼吸と脈拍も速く手足の末端は冷感と湿潤で出血性ショック状態。危険な状態でした。直ちに救急隊ができる処置と酸素吸入

事例1

3者が連携して救命

昨年4月、市内のゴルフ場で、55歳の市外の男性が突然倒れたため、後続のプレーヤーが駆け寄り、意識呼吸なし。直ちに心肺蘇生法を行うとともに、ゴルフ場の従業員に連絡しました。従業員は、119番通報を行い、AEDで電気ショックと心肺蘇生法を続けました。消防本部では、重篤な病態であると判断し、救急車出動と同時にドクターヘリを要請。併せてドクターヘリ支援車両も出動させました。救急車は傷病者の観察処置、支援車両はゴルフ場内へドクター



ドクターヘリに感謝の意を述べた熊崎暢敏さん (三郷町・54歳)

当時は意識がもうろうとしていましたが、救急隊員に何度も声を掛けてもらったことを覚えています。命に危険がある中、ドクターヘリを早い段階で要請してもらったことに感謝しています。今では、日常生活や仕事に支障がない程度までに回復しました。

を行い、中部大学のヘリポートへ搬送。早期にドクターヘリの医師により治療が開始され、羽島郡笠松町の病院へ搬送されました。

ヘリの着陸誘導を行いました。ゴルフ場は、市指定のヘリポートではありませんでしたが、ドクターヘリの機長が判断し、緊急的に着陸しました。救急車到着時、傷病者には意識がなかったものの呼吸と脈拍は再開。ドクターヘリの医師によって治療が開始され、ヘリコプターで病院に搬送されました。この事例では、市民と消防、医師の連携が適切になされたことが功を奏しました。この男性は「みなさんの協力で早い対応、治療のおかげで、後遺症もなく、無事に社会復帰できました」などと感謝の言葉を語っていました。

救急車の利用は適切に

我慢せず119番通報

緊急性がある症状やけがが生じたときには、我慢せず119番通報をしてください。通信司令室の職員が状態を伺い、救急車の出動やドクターヘリの要請をします。

大人の体に次のような症状が発生したときは、緊急性を要すると思われまます。

- 【頭】「突然の激しい頭痛」「突然の高熱」「支えなしで立てない」「ぐらぐら急ぐふらつく」
- 【顔】「顔半分が動きにくい」「か、しびれる」「にっこり笑うと口や顔の片方がゆがむ」「ろれつが回りにくい」「うまく話せない」「視野が欠ける」「物が突然二重に見える」「顔色が明らかに悪い」
- 【胸や背中】「突然の激痛」「急な息切れ」「呼吸困難」「胸の中央が締め付けられるような痛み、または圧迫されるような痛みが2、3分続く」「痛む場所が移動する」
- 【腹】「突然の激しい腹痛」「持続する激しい腹痛」「吐血や下血がある」

【手足】「突然のしびれ」「突然、片方の腕や足に力が入らなくなる」

その他、「意識の障がいや、けいれん」「大量出血のある外傷」「広範囲のやけど」「冷や汗を伴うような強い吐き気」「異物の飲み込み」などの場合もすぐに救急車を呼ぶ必要があると思われまます。

不適正利用は困ります

119番通報の不適正な利用は困ります。本当に緊急性を有する人への対応が遅れるなどします。適正な利用をお願いします。

【不適正利用の例】

「交通手段としての救急車利用」「待ち時間なく診察するための救急車利用」「便秘で救急車を要請」「微量の鼻血で救急車を要請」「軽いけがで救急車を要請」「何度も軽症の同じ症状で救急車を要請」「風邪をひいたが、雪道を運転したくないので、救急車を要請」など ※常にかかりつけ医を持ち、緊急性のないものは、早めに自分で病院に掛かるようにしてください